

経法大が設置決定

社会情報など4学科

「大館短期大学(仮称)」の誘致

十二月十八日、学校法人秋田経済法科大学は、大館市に設置する「大館短期大学(仮称)」の基本計画を発表しました。同短大は、開設学科が看護・福祉介護・社会情報学科などの四学科で設置経費は五十二億円。開設目標年度は平成七年度。大館市が中心となった県北の強力な誘致運動が実り、いよいよ開校に向けた事務作業が進められることとなります。

学生総定員は

490人

県北に高等教育機関の設置を、平成三年九月、県北二市二

郡の市町村長、議会議長をはじめ、商工業、農業、教育関係などの団体で組織する「秋田短期大学誘致促進期成同盟会」(会長・小畑大館市長)が発足し、秋田経済法科大学に対して短大の設置を要望してきました。また、県でも、



短大設置予定地(技能開発センター)

新総合発展計画の中で、高等教育機関の整備とともに医療現場や老人・障害者福祉現場で活躍できる人材の育成と確保を重要施策の一つとして、短大設置を側面から働きかけてきました。その結果、経法大は、大館短大の設置を決定し、十二月十八日設置基本計画を発表しました。基本計画では、設置

者は同大学法人で、開設目標年度は七年度、設置場所は大館市。学科構成は第一看護学科(三年制課程)一学年五十人、第二看護学科(二年制課程)一学年三十人、福祉介護学科(二年制課程)一学年四十人、社会情報学科(二年制課程)一学年百人の四学科で、総定員が四百九十人。また、キャンパスは校舎、図書館、体育館、運動場、学生宿舎などで、面積が約二万五千平方メートルとなっています。市では、設置場所に秋田技能開発センター敷地(清水二丁目)を予定しています。

専門知識と実務を

幅広く学習

設置経費は、校舎、図書館、体育館、運動場などの施設整備費四十五億円と開校初年度の経常経費七億円の合計五十二億円を見込んでいます。

開設学科の中で特徴のあるのが社会情報学科です。この学科は、統計学、情報処理学など情報分析に必要な専門教育のほか、ワープロ、パソコン、秘書学な

短大設置委

月内に発足へ

経法大では、今月にも県、大館市を含めた短大設置委員会を発足させ、大学開設に係る認可申請など、七年度開設に向けた事務、作業を本格的に進めていく予定です。しかし、用地の取得、教員の確保のほか、文部省や厚生省との折衝などの課題もあって、開校は八年度にずれ込む可能性もあります。

短大の設置は、人材の育成や確保、若者の地元定着につながり、産業の活性化、文化の振興など、地域の発展を図る大きな原動力となります。また、学生や教員が集まることで、教育面だけでなく地域への経済波及効果も大きいものがあります。経法大の短大設置決定は、開校に向けてのスタートラインに立ったばかりです。市は経法大を支援していくとともに、大館に二つ目の高等教育機関が早期に開校されるよう全力で取り組んでいきます。

どの実務教育も行い、実社会に即応できる人材を育成します。また、十和田湖・八幡平などの観光資源を背景に将来有望視される、観光産業の中核を担う人材育成のための観光学に関するカリキュラムも盛り込んでいます。